

みどりの日の散策

加藤 誓(ちかい)

昨日の大雨も上がり令和8年5月4日は、まさに「みどりの日」にふさわしい祝日となった。早速、猪高緑地へ出掛けた。

自然散策会とは違って、ひとりなので自分のペースでゆっくり辺りを見ることが出来た。

可愛らしい小さな花を見つけた。「ユウゲショウ」という名の花だそう。雰囲気ピッタリの名前で感激をした。

これを機に、草むらの隅々に目を凝らしてみた。

小さな花、苔の中に生えるキノコ、ヘビイチゴなど、そこにはメルヘンの世界があった。

コメツブツメクサの花が一番小さく、オオイヌノフグリ、カラスノエンドウがそれに続く。犬(本物より劣る)やカラス(黒っぽい・野生)、狐(紛らしい・毒)、蛇(蛇が食べる・形)豚(豚しか食わない)など可哀そうな冠名が付けられた植物がある。

ヒメジョオンは荒れ地や、道端に咲くので貧乏草とも言われている。

一方でヒメ(姫・小さく可憐)ミヤマ(深山・山地・高山)ヤマト(大和・和)など印象が良くなる名の植物がある。

シラユキゲシは、湿地で薄暗い所に生育するが、名前の方が出来過ぎの感がある。「みどりの日」に多くの植物と3つの昆虫に会え、私は毎日が Sunday の身であるが、有意義な祝日・休日であった。



赤いプロペラを付けたヤマモミジ



コメツブツメクサ(米粒詰草)



オオイヌノフグリ(別名:星の瞳)



カラスノエンドウ



ヒナノヒガサ(雛の日傘)



ヒトヨタケ(一夜で傘とヒダが溶ける)



ヤブヘビイチゴ(藪に生える旨くない苺)



カタバミ(葉が一部食べられた形の意)



ユウゲショウ(夕化粧)



アメリカフウロ(風に揺られる葉の露の意)



ケキツネノボタン(葉が牡丹似騙された意)



シロツメクサ(輸送時の詰め物に使用)



シラユキゲシ(白雪芥子)



ノゲシ(野は野山に多+葉が芥子似)



ブタナ(豚菜)



ムラサキツユクサ(ピンク系)



ヒメジョオン(姫女苑・鑑賞用が野生化)



ヨメナ(嫁菜、春の若葉は食用)



キショウブ(黄菖蒲)



ガマズミ(鎌の柄に使用+酢実)



スイカズラ(花蜜を吸う+葛:つる植物)



サカキカズラ(葉が蕪似+つる植物)



アメンボウ(飴のような匂いで形が棒)



カタツムリ(蝸牛:笠を付けた貝)



ゴマダラチョウ(羽化したばかり)

世の騒ぎ 知らぬ野山は 緑立つ

誓(ちかい)